

【別紙】

ワークショップの結果 【会場：花北振興センター】

【テーマ】

地域の担い手について

分類	課題と感じていること	どうすれば解決に向かえるか
世代間交流	・若い世代の関わり不足、若い人が少ない。 ・地域の運動会への参加者が少ない。 ・現在あるものを否定し合理的な極論に持っていこうとする世代。 ・若い人と高齢者の調整が困難。 ・地域の関わりを面倒に思う世代。 ・新たに移住してきた人との付き合いが下手。 ・新世代（転入者）の町内会への期待。 ・自分本位、人任せ。 ・地域活動に魅力がない。 ・世代間の価値観が埋められない。 ・気軽に多くの人と話し合える場所がなくなってきた。 ・若いときからのつながりが少ない。 ・最近の生活スタイルを理解しきれない。 ・若い人が出てこない、若い人が忙しいのではないか。 ・定住者と移住者とのつながりが少ない。 ・もしかしたら若い人達がお金に余裕がないのかも。 ・会費を払ったことで参加した気持ちでいる。自分や個人の時間を大切にする雰囲気がある。 ・個人の自由。	・垣根を取っ払う。 ・顔を合わせる機会をつくる。 ・ニュースポーツで交流を図る。 ・誰でも集まれる場をつくる。 ・懇談や交流の場を増やす。 ・地区の祭りを活用する。 ・学校運営協議会の活用。 ・変なおじさんになる。
60代～担い手不足	・生活時間の多様化。 ・定年延長。 ・高齢世代と若者世代の偏り。	・顔を合わせる機会をつくる。
組織系統	・自治会と区長の役割と地域の規模の格差大。 ・班長のなり手不足や執行部との連携が大変。 ・PTAや班長を尊重するべき。 ・命令系統が繋がらない（若い人は人任せ）	・小さい自治会の合併。

分類	課題と感じていること	どうすれば解決に向かえるか
担い手の掘り起こし	・ 学生、学童等の行事との断絶。 ・ 普段から付き合いがないので役員が困っている。コミュニケーションを多くすること。 ・ 任務を押しつけられること。 ・ 活動に参加しているが、声がかからない例もある。思い切って声をかけることも大切。	・ 班長制度を生かす。 ・ 班長会議を活用する。
高齢者中心	・ 高齢者で自治会に関わっている人が数人いる（交代できないのか） ・ 高齢者の役員は年齢制限を設ける。 ・ 地域貢献できる世代がいらない。 ・ 老人クラブの入会者が少ない。 ・ 人口減少。 ・ 少子化、地区PTA活動がない。	・ 高齢者の年齢制限を設ける。
魅力・関心	・ 自治会、コミュニティに関心を持たない。 ・ 地域に魅力を感じない。 ・ 役員の魅力を見いだせない。 ・ 自分でなくても誰かがやってくれる。 ・ 役員の交代ができない。 ・ 同じ人に役が集中する。 ・ 役員が決まらない。	・ 担い手の育成方法を検討する。
社会構造の変化	・ 会社中心の考え（休まない、休めない、就業時間の違い） ・ 定年の延長。 ・ 定年延長等で70歳位まで仕事をしていて 終えてからの意欲関心が高まらない。	